

令和5年度第2回幸手市地域公共交通会議 会議録

○開催日時 令和5年9月20日（水）13時55分～14時47分

○会場 幸手市役所 第二庁舎 第1会議室

○会議内容 公開

○幸手市地域公共交通会議委員

委員区分	所属・職名	氏名	会議の出欠	
第1号 (幸手市長又はその指名する者)	幸手市総合政策部長	落合和典	出席	
第2号 (一般乗合旅客自動車運送事業者の代表)	朝日自動車株式会社	田沼健一	出席	
第3号 (一般貸切(乗用)旅客自動車運送事業者の代表)	中田商会株式会社	中田幸宏	出席	
	株式会社東埼玉観光バス	内藤秀夫	欠席	
	幸手タクシー有限会社	酒井昭	出席	
	有限会社共和タクシー	明野真久	出席	
第4号 (鉄道事業者の代表)	東武鉄道株式会社	神山守	欠席	
第5号 (一般社団法人埼玉県バス協会の代表)	一般社団法人埼玉県バス協会	関根肇	欠席	
第6号 (一般社団法人埼玉県乗用自動車協会の代表)	一般社団法人埼玉県乗用自動車協会	藤田貢	出席	
		幸手市区長会	松田光男	出席
		出井保信	出席	
		山下治郎	出席	
第8号 (埼玉運輸支局長又はその指名する者)	国土交通省関東運輸局埼玉運輸支局	中山俊夫	出席	
第9号 (一般旅客自動車運送事業者の事業用自動車の運転手が組織する団体の代表)	朝日自動車労働組合	飯塚光弘	欠席	
第10号 (道路管理者又はその指名する者)	埼玉県杉戸県土整備事務所	古川美和	出席	
第11号 (幸手警察署長又はその指名する者)	埼玉県幸手警察署	瀧井秀也	欠席	
第12号 (前各号に掲げるもののほか、市長が必要と認める者)	埼玉県企画財政部交通政策課	村上晶彦	出席	
	五霞町生活安全課	曾根正明	出席	
	幸手市総務部長	長田広	出席	
	幸手市健康福祉部長	関根一勝	出席	
	幸手市建設経済部長	狩野一弘	出席	
	幸手市教育部長	小林秀樹	出席	

※会長は、幸手市地域公共交通会議設置要綱（平成22年3月29日告示第31号）第5条第1項の規定により、幸手市総合政策部長 落合和典が務める。また、同第6条第1項の規定により、会長が、会議の議長となる。

○傍聴人 3人

○会議次第

- 1 開会
- 2 会長あいさつ
- 3 議事

【報告事項】

- (1) 市内循環バス運行状況について
- (2) 幸手市地域公共交通計画策定に係る市民アンケート結果等について

- 4 その他
- 5 閉会

○会議資料

- ・会議次第
- ・令和5年度幸手市地域公共交通会議委員名簿
- ・席次表
- ・資料1 市内循環バス運行状況報告書
- ・資料2-1 幸手市地域公共交通計画策定に係る市民アンケート結果等（要点）
- ・資料2-2 公共交通についての市民へのアンケート
- ・資料2-3 市内循環バス乗降客調査（OD調査）
- ・資料2-4 鉄道利用客へのアンケート
- ・資料2-5 公共交通に関するその他のアンケート

司会	<p>【1 開会】</p> <p>定刻前ではございますが、皆様お集まりでございますので、ただいまから、令和5年度第2回幸手市地域公共交通会議を始めさせていただきます。</p> <p>本日は大変お忙しい中、ご出席を賜りまして誠にありがとうございます。</p> <p>司会進行を務めさせていただきます、事務局の市民協働課 野川と申します。どうぞよろしくお願いいたします。</p> <p>この会議につきましては、幸手市地域公共交通会議設置要綱第6条第6項の規定により、公開とさせていただきますことをご了承願います。</p> <p>また、議事録作成に伴いまして、録音機器の使用も併せてご了承願います。</p> <p>また、傍聴者の皆様におかれましては、受付時にお渡しさせていただきました通り、傍聴上の注意を厳守していただきますようお願いいたします。</p>
----	---

初めに資料の確認をさせていただきます。

事前に送付させていただいた資料といたしまして、

会議次第

資料1 市内循環バス運行状況報告書

資料2-1 幸手市地域公共交通計画策定に係る市民アンケート結果等（要点）

資料2-2 公共交通についての市民へのアンケート

資料2-3 市内循環バス乗降客調査（OD調査）

資料2-4 鉄道利用客へのアンケート

資料2-5 公共交通に関するその他のアンケート

こちらが事前に配布させていただいた資料でございます。

続きまして、本日お配りさせていただいた資料として、まず初めに正誤表でございます。

こちらは大変申し訳ありません、事前に配布させていただいた資料の中に、誤記載がございました。

正誤表の表記にある通り訂正をお願いしたいと存じます。誠に申し訳ありませんでした。どうぞよろしくお願いいたします。

続きまして、

令和5年度幸手市地域公共交通会議委員名簿

席次表

市内循環バスのリーフレット、大きいものと小さいものをお配りさせていただきました。

こちらについては、10月1日から市内の医療機関2ヶ所に停留所を設置いたします。

その内容を反映したリーフレットを作成しましたので、本日お配りをさせていただきました。

なお、こちらにつきましては、市民の皆様への配布については、10月号の広報紙に折り込みにて配布をさせていただく予定でございます。

どうぞよろしくお願いいたします。

資料につきましては以上でございます。

不足等はございませんでしょうか。

なお、本日は、株式会社東埼玉観光バス 内藤様、東武鉄道株式会社 神山様、一般社団法人埼玉県バス協会 関根様、朝日自動車労働組合 飯塚様、幸手警察署 瀧井様から欠席とのご連絡をいただいておりますことをご報告させていただきます。

本日の出席者については17名でございます。

<p>落合会長</p>	<p>このため、委員の過半数の出席をいただいておりますので、要綱第6条第2項の規定により会議を開催させていただきます。</p> <p>それでは開会にあたりまして、会長の落合総合政策部長からご挨拶を申し上げます。</p> <p>【2 会長あいさつ】</p> <p>改めまして皆様こんにちは。</p> <p>幸手市総合政策部長の落合でございます。</p> <p>本日は、令和5年度第2回幸手市地域公共交通会議にご出席を賜りまして誠にありがとうございます。</p> <p>本日は、現在、市で運行しております、市内循環バスの運行状況と地域公共交通計画策定に向けて実施いたしました市民アンケート結果等についてご報告をさせていただきます。</p> <p>市内循環バスの運行・利用促進、地域公共交通計画の策定に向け、引き続き、皆様からご意見をいただき、連携を図りながら、地域の旅客運送サービスの充実に繋げてまいりたいと考えておりますので、何卒、皆様のご協力をお願いいたします。</p> <p>本日はどうぞよろしくお願いいたします。</p>
<p>司会</p>	<p>続きまして、次第3、議事に入らせていただく前に委員の皆様にご報告させていただきます。</p> <p>1点目といたしまして、前回会議以降、事務局を担当しております市民協働課にて職員の異動がございました。</p> <p>新たに千葉と落合の2名が加わり、担当させていただきますので、どうぞよろしくお願いいたします。</p> <p>2点目といたしまして、本日、報告事項2で、地域公共交通計画の策定に係る市民アンケート結果等についてご報告をいたしますが、説明に当たり、本業務を委託しております、八千代エンジニアリングの三上様、加藤様が説明員として同席しておりますことをご了承願います。</p>
<p>司会</p>	<p>【3 議事】</p> <p>それでは、議題3の議事に入らせていただきます。</p> <p>ここからの進行は、会議設置要綱第6条第1項の規定に基づき、会長であります、落合総合政策部長に議長をお願いいたします。</p>
<p>議長（落合会長）</p>	<p>しばらくの間議長を務めさせていただきます。よろしくお願いいたします。</p> <p>それでは次第3の議事に入らせていただきます。</p>

<p>議長（落合会長）</p>	<p>報告事項（１）市内循環バス運行状況について 報告事項１「市内循環バスの運行状況について」を議題といたします。 事務局から説明をお願いします。</p>
<p>事務局</p>	<p>お配りしております資料１ 市内循環バス運行状況報告書をご覧くださいただければと存じます。 市内循環バスの運行状況についてご報告させていただきます。 それでは、１ページをご覧ください。 運行を開始した令和４年１月から令和５年８月までの運行実績となります。 前回の第１回会議の報告資料から、直近３ヶ月分の実績を追加しております。 また、１ページの区分別利用者数の右隣に、新たに列を追加いたしましたして、前回の会議で委員からご意見いただきました、幸手市の１日乗車券を提示して、杉戸町のいずれかの停留所で降車した方の人数を参考値として今回の資料から追加いたしました。 全体的な利用者数の推移は、各月運行日数が異なることから、左から５列目の１日当たり平均利用者数をご覧くださいただければと存じます。 運行開始から１年８ヶ月が経過しまして、前年同月との比較も注視していくところであります。 令和５年１月から８月の前年同月は、運行開始直後の期間のため、あまり比較にはならないですが、いずれの月においても前年同月を上回って推移してきております。 続きまして３ページから８ページになります。 こちらがコース別・便別利用者数となりますが、直近の令和５年６月から８月にかけても、全体の利用者数のうちの７割弱が中央コースの利用となっております、依然として中央コースの利用がメインで推移しております。 また、便別に見ましても、全体的な傾向として、９時台から１４時台までの利用が多い状況で推移しておりますが、中央コースの令和５年８月の数字に限っては、特徴的な数字の変化がありました。 ３ページをご覧くださいただければと存じます。 乗車、降車ともに、令和５年８月の１便と２便の利用、こちらが大きく増加しまして、その分５便、午後の時間帯の利用が大きく減少しました。</p>

	<p>こちらの利用の内訳を見ましたところ、シンプルに1便の数の利用者数が増加したという部分もありますが、この明らかな変化が意味していることは、あくまで推測にはなりますが、8月は気温が高い日が続いておりましたことから、なるべく気温の低い午前中の時間帯に利用者の方々は用事を済ませたい、1日の中で最も気温が高くなる時間帯には移動控えたい、というような、既存利用者の方々の動きを表しているのではないかと考えられます。</p> <p>10 ページ以降は、停留所ごとの月別利用者数、1日平均利用者数をまとめたものとなりますが、中央コースの停留所では22ヶ所ございます停留所のうち、乗車利用では5ヶ所、降車利用では4ヶ所が令和5年8月の利用で、1日平均過去最多、もしくは過去最多タイの数字を記録しております、今後もまだまだ利用者数の増加というのには期待できるものと考えております。</p> <p>市内循環バスの運行状況についての報告は以上でございます。</p>
議長（落合会長）	<p>ただいま事務局から説明がありましたご意見、ご質問がございましたらお願いいたします。</p> <p>よろしいですか。</p>
議長（落合会長）	<p>報告事項（2）幸手市地域公共交通計画策定に係る市民アンケート結果等について</p> <p>それでは続きまして、報告事項2「幸手市地域公共交通計画策定に係る市民アンケート結果等について」を議題といたします。</p> <p>事務局から説明をお願いいたします。</p>
八千代エンジニアリング	<p>改めまして、八千代エンジニアリングの三上と申します。</p> <p>では、お手元の資料2-1をご覧ください。</p> <p>こちらの方に調査の要点を整理しておりますので、主にこちらの資料に基づきましてご説明させていただきます。</p> <p>詳しいデータやグラフなどにつきましては、資料2-2以降の資料に示しておりますので、必要に応じてご覧いただければと思います。</p> <p>では、今回の計画策定に向けて行ったアンケート、それから通常時から行っているアンケートなどがございますが、まず最初に、今回の計画策定に向けまして、市民の皆様に行ったアンケートがございますので、そちらについてご説明させていただきます。</p> <p>資料2-1に要点を示しておりますが、詳しい内容は資料2-2公共交通についての市民へのアンケートを横に置きながら、ご覧いただければと思います。</p>

まず、この市民へのアンケートですが、対象は15歳以上の市民の方2,000名を無作為抽出いたしまして、郵送配布し、郵送回収又は回答用QRコードからWEBで回答することも可能としまして回答を得ました。

得られました回答は920名でした。

資料2-2の1ページに、今回のアンケートにご回答くださった方がどういう方々かということをご参考にお示ししております。

2ページでは、運転免許の保有状況についてお示ししております。

まず、要点の一点目ですが、市民の多くの方が免許を持っていますし、3ページにございますように、多くの方が免許の返納については考えてないと回答している方が大半であるという特徴があります。

8割ぐらいの方がそのようにおっしゃっています。

それから3ページ以降に、皆さんの外出状況ですとか利用されている交通手段、これについてお示ししていますが、特徴的なことを申し上げます。

多くの方がよく外出される目的につきましては、通勤通学の他、お買い物、例えばヤオコーとかベルクとかヨークフーズとか、そういうところに行かれる買い物、それから通院が多くなっています。

外出手段については、4ページと6ページをご覧ください。

4ページの方が皆さんが外出される、一番多いお出かけの目的、6ページが2番目となっていますが、4ページの一番下にグラフがあります通り、大半の方が自動車でお出かけされています。

自身が運転される方の他、ご家族などの送迎と一緒に乗っていかれる方がおりますが、これらが多くを占めているということで車が中心であるということが言えるかと思えます。

それ以外ですと、鉄道ですとか自転車も一定の利用がございます。

次に7ページをご覧ください。

こちらは市内循環バスにつきまして、どれぐらいの利用頻度か聞いたものが7ページの下になりますが、市内循環バスにつきましては、ご覧の通りですと、利用されていないという方が大半を占めています。

先ほどありました、循環バスの利用状況のご報告ですとか、後に出てきます、循環バスの利用客に対するアンケートがありますが、ご覧のような結果ですと、使っていない方が大半で、限られた決まった方がよく頻繁に利用されているという状況だと見受けられます。

次に9ページをご覧ください。

こちらの上の方が、市内循環バスを利用している方に対して今後どのようなことが必要かということを探ねたものになっております。

運行本数を増やすという回答が多いですが、特徴的なのは、反対周りの便を設定して欲しいというご意見が多くございました。

9ページの下の方ですが、先ほどありましたように、循環バスを利用されていない方が大半でしたが、その利用しない理由を聞きましたところ、突出して多いのは、車など他の交通手段がありますよという回答が多い状況でした。

次に10ページ以降で今後に向けた考え方を聞いております。

まず、10ページの下側、移動手段につきまして、困っていることがありますかという質問をしておりますが、7割の方が困ることはないと回答しています。

次のページの下では困ったときにはどうしますかということ聞いています。

お出かけで困ったことがあったら、皆さんどうされているかと言いますと、タクシーとか、やはりお車での送迎などで対処されているということが皆さんの回答でした。

ただ、今後充実してほしい公共交通はどのようなものですかということ伺っているのが、12ページにございます。

今後充実してほしい公共交通としましては、皆さん挙げていらっしゃるの市内循環バス、それから路線バスが挙げられております。

それから同じページの今後に向けた財政負担についての考え方がですが、多かったのは市の財政負担は現状のままで公共交通を維持するという意見が多数となっております。

一方で、公共交通を現状よりも充実すべきというご意見も多くはなっております。

最後のページをご覧ください。

今後の公共交通について充実すべき内容ということ聞いておりますが、その内容としましては、13ページの下側のグラフにありますように、交通弱者の移動手段、これを確保すべきであるという意見が多くを占めていた状況でした。

13ページの下の方、色が薄くなっておりますが、その他、具体的な意見を書かれた方がいらっしゃいましたので、どういう回答が多かったかということ要点だけ挙げております。

圧倒的に多かったご意見は将来は公共交通の利用を考えているが、今は車があるので利用しませんとか、今はバスに乗ることが無いのでわかりませんか、そういうご意見が多数でした。

その他ですと、バスの便数ですとか、バスの方面について、それから中にはお客さんが少ないのもったいないというご意見もあつたり、タクシーチケットが欲しいですよとおっしゃつたり、やはり複数いらつしゃつたのは循環バスの反対周りが欲しいといったようなご意見でした。

1点目の市民へのアンケートにつきましては以上です。

次に参ります。

これも要件に従つてご説明いたしますが、民生委員と児童委員の皆さんにアンケートを行いました。

資料の順番が入れ替わりますが、資料2-5をご覧ください。

7ページから民生委員・児童委員へのアンケートを掲載しております。

このアンケートにつきましては、民生委員・児童委員の皆様へ直接、この計画策定に向けてのご意見という趣旨でアンケートを行ひまして、47名の方からご回答を得ております。

要点の1ページの一番下に主なことだけを書いておりますので、そちらの方でご説明いたします。

まず、民生委員・児童委員の皆さんが、相談を受けることが、常時ではないですが、お買い物とか通院のことであるようで、相談者も、普段は車、あるいは徒歩、自転車以外出される方が多いと見られます。

そのような方は普段ずっと困つていらつしゃるといふわけではなくて、時々困ることがあるという状況のようです。

その困つたときはどうされるかといふと、ご家族・友人・知人の送迎、タクシーなどで対処していると回答しています。

民生委員・児童委員の皆様から、今後必要なもの、充実した方がよいことにつきましてご意見がありましたのは、まず個別の送迎である福祉タクシー、それから公共交通である市内循環バス、これがともに多く挙げられていたといふ結果でございます。

簡単ですが、民生委員・児童委員へのアンケートの説明は以上です。

次に参ります。

要点の2ページ目の一番上、市内循環バス乗降客調査（OD調査）についてご説明いたします。

詳しい内容は資料 2 - 3 をご覧いただければと思います。

まず資料 2 - 3 の 1 ページ目に調査の概要を示しておりますのでご覧ください。

この OD 調査というのは、O が出発点で、D が到着点なんですけれども、バスのお客様がどこから乗って、どこで降りたかということのカウントする調査です。

写真にあります通り、バスに乗り込んで、今年の 7 月 19 日と 7 月 22 日の 2 日間、市内循環バスの全部の利用客を対象として調査を行いました。

この 2 日間の当日の利用客数がどのくらいあったかということを示して 1 ページと 2 ページに示しております。

7 月 19 日は 75 名で、7 月 22 日は 47 名でした。

要点に書いてある通り、まず市内循環バスの運行状況報告の資料にもありましたが、経費に対して収入が大きく不足している状況です。

こちらの調査結果にあります通り、特に東コースと西コースの利用客数は極めて少ない状況で、便別で見ますと、特に夕方の便が特に利用が少なく、中には利用がない便もありました。

それから、あとの資料 2 - 3 の 3 ページ、4 ページ、5 ページは詳しい説明を省略いたしますが、要点の方で書いてあります通り、これは循環バスを利用された方がどこで乗り降りされたのかを詳細に示しております。

バス停ごとに見ますと、別のコースに乗り継ぎが可能な幸手市役所、それから鉄道に乗り継ぐことができる、幸手駅の乗降客、これが特に多くなっています。

その他では、利用客が集中するようなバス停はなく、年間実績から見ると、頻繁には利用されていませんが、時々利用されるようなバス停が多くなっているとみられます。

8 ページ以降は、ただ単純に人数をカウントしただけではなく、当日乗っていた方がどのような方、あるいはどういう目的で乗られたか、あるいは循環バスに乗る前と降りた後にどうされたかということを取り上げて調査したことになります。

市内循環バスにつきましては、平日の利用は比較的高齢者が多くなっていますが、休日になりますと、30 代から 60 代といった若い方にも利用されているということがわかります。

それから、他の交通機関と乗り継ぎなどせずに循環バスに乗る前も徒歩のみ、降りてからも徒歩のみという方が多く、市内循環バスは多くの方が徒歩圏で利用されているということがわかります。

ただし、鉄道との乗継や市役所での市内循環バス同士の乗継、これも徒歩ほどではないですが、見る事ができる状況でした。

これが乗降客調査の結果でございます。

次に参ります。

要点の2ページの中段あたり、幸手駅の利用客へのアンケートということ、資料2-4をご覧ください。

これ1ページ開いていただきまして、実際に幸手駅の改札前、それから駅入り口前で、休日1日、平日1日、聞き取りもしくはご本人にその場で書いていただくという方法でアンケートを行いました。

回答は491人から得ることができました。

その結果の概要につきましてご説明いたします。

まず、今回の調査での鉄道旅客ですが、10代20代の若者が大半を占めておりました。

平日につきましては、通勤・通学での利用が多く、休日については、趣味、遊び、習い事などが多くなっていました。

県内の東武沿線に出かける方が多くを占めていましたが、休日につきましては、東京都内へ行く人のほか、幸手市に来訪する方も増える傾向がありました。

それから、幸手駅で鉄道から他の交通手段へ乗り継ぐ方は、少数派でして、どちらかというところ、徒歩、自転車で駅へアクセスする方が大半という状況でした。

4ページでは、鉄道に望まれることを聞いておりまして、グラフを示しております。

一番多かったのは、特にありません、今のままでいいですというご意見が多数でした。

ただ、次いで多かったのは、昼間の便を増やすということ。

それから特徴的であったのは、待ち時間を快適に過ごせるようにしてほしいという意見が比較的多くなっています。

4ページの下の方に書いておりますが、具体的にこうしてほしいといった中で圧倒的に多かったのが、駅の構内とか駅前、特に西口と皆さんおっしゃっていましたが、そちらに店舗とか自販機が欲しいとおっしゃっていました。

具体的に高校生の方とかですと、自販機の内容までおっしゃっておりまして、アイスの自販機がほしいということをおっしゃってました。

それから本数についてのご意見が多かったのと、このアンケートを実施した時期が夏休み直前だったという理由があったかもしれま

せんが、駅舎内のエアコンを効かせてほしいという声も多数見られました。

以上が、幸手駅の旅客へのアンケート結果でございます。

あと、二項目ございまして、その他のアンケートの中で、市内循環バス利用客へのアンケートを行っております。資料2-5をご覧ください。

1 ページ目に結果を示しております。

このアンケートにつきましては、常時車内に据え置きされていて、車内で投函する方法で回収を行っているアンケートです。

今回の集計につきましては、これまでの回答数 90 人の集計を行ったものです。要点の方で、特徴のみ説明いたします。

まず、循環バス利用の目的は、通院、買い物で使用される方が多数を占めていました。

それから、利用の頻度ですが、先ほど申しました通り、使っていない方は週に1日、2日利用される方が最も多くなっています。

中には、毎日使っているという方もおられます。

この循環バスについての困りごとにつきましては、まず、停留所が遠いという他、乗り換え方法がわかりにくいとか、時刻表がわかりにくいという順で多く挙げられています。

今後望むことにつきましては、運行本数を増やすことと反対周りの便が欲しいというご意見が多数となっております。

以上が循環バス利用客へのアンケート結果です。

4 ページ目をご覧ください。

こちらにつきましては、運転免許を返納された方に対するアンケートです。

こちらのアンケートは免許を返納された際に直接アンケートを配布して、郵送回収するという方法で常時行っているアンケートで、今回は 30 人の方の回答を集計しております。

要点のみをご説明いたしますと、まず、免許返納された経緯や理由についてですが、自動車がないことに不安を感じてはいますが、運転の不安とか、ご家族の進めで免許を返納しましたという方が大半を占めています。

免許返納された後にお出掛けの手段はどうするかということについては、徒歩、自転車が特に多く、次いで誰かの送迎による自動車、それからタクシー、市内循環バスという順で多くなっています。

今後、免許返納者が充実を望む公共交通については、市内循環バスが最も多く挙げられています。

アンケートの結果は以上ですが、要点、資料2-1の3ページには、アンケート以外で本日資料はお付けしていませんが、幸手市を中心とした地域の概要、それから公共交通の概況を要点のみ示しております。

詳しくご説明いたしません、地域の概況といたしましては、皆さんご存知の通り、人口が既に減少しておりまして少子高齢化が進んでいるということ。

それから、今後も少子高齢化、人口減少が進む見通しであるということ。

それから、お店とか医療施設などの多くが、町の中心のエリアに集まっているということで、皆さんがこれを利用されようとすると、市内で何らかの交通手段が必要な状況であるということ。

それから、市民の皆さんの状況ですが、先ほどありました通り、多くの方が、車を使っていることです。

ですので、鉄道もちろん一定の利用がありますが、皆さんの外出スタイルが車中心になっているということが把握できております。

それから下段の方で公共交通の概況よりとありますが、先ほど循環バスの説明はありましたが、鉄道も路線バスもタクシーも利用客数は、コロナ前から既に微減傾向にありました。

それがコロナで大きく落ち込んでいて、まだ回復していないという状況です。

特に市内循環バスはお客様が今極めて少ない状況で徐々に増えつつはありますが、まだ大きく収入が減少している状況であります。

それから、バス事業者様、タクシー事業者様から直接お話を伺ったりしていますが、全国的に運行事業者様は乗務員不足、それから乗務員の皆さんの高齢化が深刻になっています。

このような現状もありまして、極めて厳しい運営状況にあるということを加えさせていただきます。

長くなってしまい申し訳ございませんが、最後の4ページに以上のアンケートの結果ですとか、地域の状況を見まして、この調査の結果から見て取れる、今後の取り組みに向けた着眼点をいくつか挙げておりますので、参考にお示ししております。

7つあります。

まず一つ目ですが、今、高齢化が進展しているというお話をしましたが、今後に向けましては、高齢化の進展を見据えて、市内の外

	<p>出手段を確保していくことが必要であるということが言えるかと思 います。</p> <p>それから、二つ目ですが、既に厳しい運営状況にあるということ で、さらに今後人口の減少も見込まれています。</p> <p>そのような中、将来にわたって公共交通を持続していくというこ とが必要になってくるということです。これも着目すべき事項で す。</p> <p>それから三つ目ですが、例えば循環バスの運行方法とか、駅の待 合環境とかご意見がありました、大幅な充実などは難しいと思わ れますが、ただそのような中でも、お出かけされるときの利便性を 確保するような方策の可能性は模索することが必要であると見て取 れました。</p> <p>それから、運行方法とかだけではなくて、全体として、わかりに くいというようなご意見もありましたので、全体としてわかりやす さを重視するということも必要であると見ました。</p> <p>それから、バスとバスの乗り継ぎ拠点ですとか、鉄道と別の手段 乗り継ぎの拠点としての駅がありますが、このような乗り継ぎの拠 点となる場所の待ち環境をすることにも必要であると見まし た。</p> <p>それから、下から二つ目ですが、皆さん、車中心であるという現 状にありまして、公共交通のことだけではなくて、例えば地球環境 ですとか、皆さんの健康面とか街中のにぎわいとかを考えますと、 少しずつでも車中心の外出スタイルの見直しですとか、あるいは公 共交通に対する意識を醸成するといったようなことに取り組んでい くことが必要ではないかと思ました。</p> <p>最後ですが、先ほど申しました通り公共交通というのは色々なこ とに関わってきます。</p> <p>そこで、観光とかまちのにぎわいとか、福祉の面とか地球とか健 康とか多様な分野があると思いますが、そういう多様な分野との連 携を模索していくということも必要だということが現状から考えら れました。</p> <p>説明は以上となります。</p>
議長（落合会長）	<p>ありがとうございました。</p> <p>ただいま事務局から説明がありましたが、ご意見ご質問がござい ましたらお願いいたします。</p>
松田委員	<p>アンケートですけども非常に良くできていて、ありがたいなと思 うわけでございます。</p>

	<p>それはいいのですが、より充実した公共交通を作るために、この会議以外にも、住民の協議する場、これがあつたらいいなと考えております。</p> <p>例えば、具体的に東コースからまず中央コースまで来るのに、2時間以上かかってしまっていたり、あとは時代の流れがありますよね、これから公共交通はより一層重要視されるわけですから、色々な情報を入れてから、協議するのもいいんじゃないかなとも考えております。</p> <p>私の言いたいことはですね、方向性の問題であって、より良い公共交通にするために協議をし、色々な情報を入れるっていうのが一つ必要じゃないかなということです。</p> <p>以上です。</p>
事務局	<p>確かに委員がおっしゃられる通り、公共交通の充実は非常に重要なことだと認識しております。</p> <p>また、多くの市民の皆様の意見の集約というような部分については、今、公共交通会議が開かれておりますけれども、場合によっては、別の形でより市民の皆様の意見を聞く場、そういったものが設けられないかということについては、少し具体的に考えていきたいと思っておりますので、そのようにご理解いただければと思います。</p>
松田委員	<p>ありがとうございます。</p>
山下委員	<p>区長会副会長の山下です。</p> <p>まめに市民からアンケートを取り、それを分析していただきありがとうございます。</p> <p>ただ、私達が周りの住民の方からお聞きする、こうしたらいいな、ああしたらいいなという内容とほぼ同じです。</p> <p>アンケートをすることは、目的じゃないですよ。手段ですよ。市民の声を汲み上げて、これからどうするのか。</p> <p>次回、事務局から、次年度の公共交通の改善、改良についてこうしたいという提案がなされるために、今回、アンケートの結果を言っ、これを受けた私たちがこれを実現させるためにやりますよという提案がなされるのでしょうかということが一つ。</p> <p>もう一つは喫緊の課題として、前回朝日バスさんからお示しされている幸手団地路線の廃止計画があります。</p> <p>それから、香日向一東鷲宮、中田商会さんの方でやっていたのが既に休止された。</p>

	<p>利用者が減ったのは、旧ダイエーの後にあったイオンが無くなったから減ったのではないかと考えていますし、今後あそこにヤオコーのスーパーマーケット、モールができて、さらにまた利用のニーズが高まるということもあると思うのです。</p> <p>そしたら、ヤオコーと連携をとりながら、路線バスを復活するとか、あるいは、東地区の利用がこれしかないであれば、循環バスは取りやめて、乗合オンデマンド式にするとか、色々な提案があると思います。</p> <p>そのような提案を次回していただけると考えてよろしいでしょうか。</p>
事務局	<p>まず1点目につきましては、今回実施をし、ご報告させていただいたアンケートについては、地域公共交通計画を今年度を策定するという目的がありまして、その策定にかけて必要なアンケートということで実施しました。</p> <p>計画を作るために多くの市民の皆様のご意見を伺わせていただきたいということでアンケートを実施したものでございます。</p> <p>現状、市では循環バスを走らせておりますし、幸手市全体で見れば、民間の交通事業者様がいらっしゃるわけですが、今後の幸手市の公共交通をどうしていくか、その大きな方向性をこの計画で定めて、来年度以降、その計画に基づいてどうしていくかというのが一つ流れがありますので、まずはその大きな流れがあるということをご理解いただきたいのと、二つ目といたしまして、まさに委員がおっしゃられたように、そうは言いながらも、廃止等になってしまう民間の事業者様の対応をどうするんだということについては、先の9月議会でも一般質問等でご意見等も出されておりましたけれども、その中でも市長がお答えしている通り、具体的に現状このように対応するという事は申し上げられないのですが、その部分についてもなるべく早期に対応を図っていくということでお答えしておりますので、現状申し上げられるのはそのような内容になります。</p> <p>よろしく願いいたします。</p>
議長（落合会長）	<p>よろしいでしょうか。</p> <p>他に何かございますか。</p>
明野委員	<p>共和タクシーの明野です。よろしく願いします。</p> <p>公共交通についての市民アンケートの10ページを見ると、移動手段に対して困ることがない方が73%いると。</p>

要は言い方悪いですけど、困ることは今は無いから考える必要ないよねという方がおそらく多分にいると。

また、その隣のページでバスを利用しない理由としては他に手段があると出ている。

実は私が見ているところでは、2年前にバスが実は新規で運行しました。

そのときは、住民の方と話し合ったときに、どんどん使いますよということで、事業所が採算とれるということでスタートしたのですが、実は2年も経たないうちに売り上げが10%もいかないということで廃止とこういう流れがありました。

先ほどおっしゃる通り、アンケートと実際はだいぶ違うんですね。

人間ってやっぱり車が楽なので、私も楽ですから。

それをその方々が通勤に使わないんですよ。

例えばバスが通ったと。

その方が通勤に使えばいいなと思ったが通勤に使わない。

お年寄りもバスは週1回でやっぱり追いつかないんですね。

なので、公共交通を充実するのも大事ですが、ぜひ地域の方とどれだけ話し合いをして、地域の方がどれだけ必要性を持っているか。

逆に言うと、行動変容をしてください。少しずつでも。ということ。最後のこの着眼点に書いてありますが、おそらくそれができないと、我々公共交通事業者ははっきり言って赤字になっちゃうとなかなか厳しいですし、運転手がいなければ、なるべく利用者がいるところ、使っていただけるところに集中するということになります。

計画を立てるのは全然良いことだと思いますが、やっぱり住民の方がどれだけ、この状況を理解していただいて、どれだけ使うか。

私が行ったある地域では、地域の方が1日何人乗りますと。乗りますので出してくださいと。

そこまで腹くくって、そうするとその地域は団地内を全部、どこでも降りられるみたいな。

このように、これだけ増えたんだから、これだけやってくれっていう地域も見てきたこともあります。

なので、計画を作るのは構わないですが、やっぱり地域の方とどれだけ話し合っ、どれだけ地域の方が重要性を持って行動していただけるかというのをやらないと、ただの計画倒れになってしまうのかなという気がしますので、そこは丁寧にやっていただいた方がいいのかなと思います。以上です。

事務局	<p>先ほど松田委員の方からも市民の意見ということがありましたが、実際に公共交通を使われる地域の方のニーズの把握を含めた、意見を聞くというような、お話かと思しますので、その部分についても、どういう方法があるか検討してまいりたいと思います。</p>
議長（落合会長）	<p>他に何かございますか。 よろしいですか。</p> <p>それでは本日の議事は全て終了いたしました。 皆様のご協力に感謝申し上げます。 これ以降の進行につきましては司会の方をお願いいたします</p>
司会	<p>【4 その他】 ありがとうございました。 それでは次第の4 その他に移らせていただきます。 初めに事務局から、地域公共交通計画策定に係る本会議の今後の開催予定等についてご説明申し上げます。</p>
事務局	<p>それでは第3回の会議についてご説明いたします。 会議につきましては日程を11月の上旬から中旬を予定しております。 決まり次第改めてご連絡をいたしますのでよろしくお願いいたします。 内容といたしましては、計画素案に取り上げる、取り組みメニューの方向性についてを皆様にご協議いただければと考えております。 よろしく願いいたします。 以上です。</p>
司会	<p>その他皆様の方から何かご意見、ご質問等ございますでしょうか。 よろしいでしょうか。</p> <p>それでは最後に議事録についての確認をさせていただきます。 本日の会議の議事録につきましては、事務局において作成し、原則公開の観点から、ホームページにおいて公開させていただきます。</p>

司会	<p>なお、委員の皆様には、公開前に送付させていただきますので何卒ご確認をよろしくお願いいたします。</p> <p>【5 閉会】</p> <p>それでは閉会に移らせていただきます。</p> <p>以上をもちまして、令和5年度第2回幸手市地域公共交通会議を終了させていただきます。</p> <p>本日は誠にありがとうございました。</p> <p>(終了)</p>
----	---